

2007年度 第1回 日本総合診療医学会運営委員会 議事要旨

日時：2007年3月16日（金）13：00～15：00

場所：石川県文教会館 407号室

出席者：小泉（俊）、生坂、小泉（順）、郡、尾藤、林、箕輪、山城、山本、伴、杉本、江村(事務局長)

（欠席：福井、武田、大西、大滝）

報告

1.第15回学術集会について

学術集会大会長小泉順二氏より学術集会の準備状況が紹介された。

議題

2.第16回以降の学術集会の開催について

伴氏が第16回（2008年度）学術集会を2008年3月8日（土）、9日（日）に名古屋市公会堂で行う旨報告した。大会テーマは、「日本の医学・医療を変革する—発信する総合診療」である。これについて名古屋大学総合診療部関連団体法人化のノウハウ、人を増やす仕組みなどもとりあげてほしいという要望があった。また次々回（2009年度）第17回学術集会は、九州大学の担当で行われるが、金、土曜日開催も考慮することになった。2010年度は、3学会合同の学術集会を開催することも視野に入れて、東京での開催も含め、検討することになった。

3.会計報告と予算案

事務局長の江村氏より2006年度決算が報告された（資料1、2）。また伴、松本両氏による監査結果が紹介され、伴氏からいくつかの要望が述べられた（資料3）。会計報告では繰越金を含めないで当期の収支がわかるように、また予算では前年度比がわかるように、勘定項目を改善するようとの指摘があった。議論の中で、本学会を健全に運営するために、収入増のために会員を増やすこと、会誌への広告収入を増やすこと、抄録代の値上げも考慮する、会費値上げも視野に入れることなどの意見があった。支出減のためには、Eメールなどの活用による会議費減（後期研修プログラムWG、インタレストグループ、ホームページ管理費など）、事務費の単価減が必要であるなどの意見があった。討議の結果、会計報告と上記意見に基づく修正を行うことを前提に予算案が承認された。

4.会則の変更

事務局長の江村氏が会則の第4条（事務局の所在地）について、事務局を従来の佐賀大学総合診療部に代わってオフィス・カイに委託することに伴い、事務局所在地を移転するため会則を変更する必要がある旨報告し、承認された（資料4）。

5.英文誌「General Medicine」の新編集委員と進行報告

小泉（俊）氏が、2006年度にはじめて年間2号を発行することができたと報告した。次のように新編集委員を指名した。新委員長：小泉（俊）、副委員長：尾藤、委員：林、野口、松井、森本、徳田。

また8巻1号の進行報告があった（資料5）。これに対して、編集システムを改善してスピーディな刊行を望むこと、MEDLINEに収載される雑誌を目指す、本誌を育てるためにawardを設けるなどの投稿を増やす工夫も必要、などの意見が出された。

6. 病院 generalist 育成の後期研修プログラムWGの進捗状況

山城氏が、今までのWGの取り組みと今後の予定を報告した。6月9～10日にWGのFDを行い、2007年9月までに後期研修のパンフレットを作成し、2008年2月までに後期研修の指針を作成する予定である。

7. その他

- 1) 日野原賞の位置づけを会則に盛り込んでほしいとの意見が出されたが、討議の結果、会則でなく文書化し本学会のHPに載せることになった。
- 2) 故田坂佳干先生の哀悼の言葉を総会で大滝氏が述べ、会場に追悼コーナーを設けることになった。
- 3) ニューズレター第17号を、本年5月に発行することになった。
- 4) 3月21日に3学会合同シンポジウムが、東京で「家庭医機能を担う新しい専門医の育成」をテーマに行われることが紹介された。
- 5) 小泉（俊）氏が、近日中に、運営委員を5名補充すること、また各種委員会（事務局・広報・国際・診療・教育・3学会合同会議・プライマリケア教育連絡協議会など）の新メンバーを指名する旨報告した。
- 6) 尾藤氏より本学会のHPがリニューアルされる旨報告があった。

*次回運営委員会は、6月23日（土、家庭医療学会の1日目）11：30～13：00に東京で開催する。会場は後日連絡の予定。（以上）